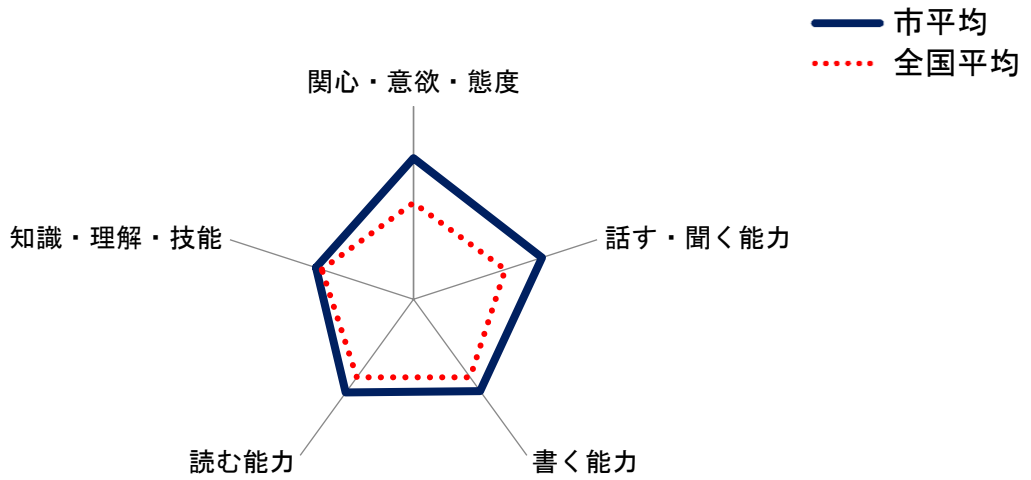
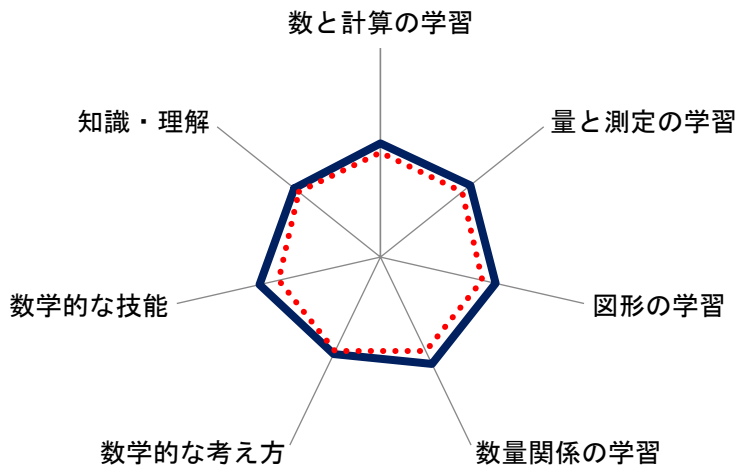


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

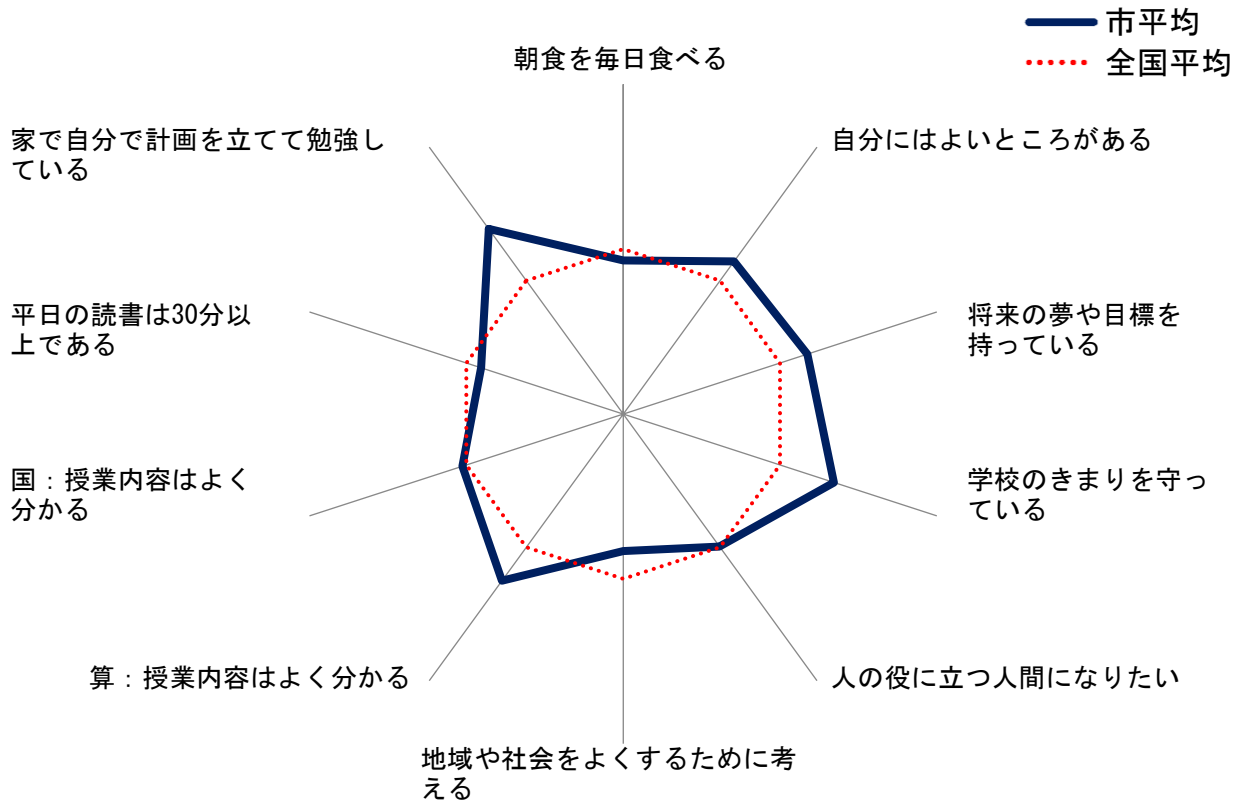
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数の全ての項目が全国平均とほぼ同じか上回っており、結果は良好である。特に国語は「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」の各項目が全国平均を大きく上回っている。今後も、知識と活用を一体的に捉えた学力を維持・向上していけるよう、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続していくことが望まれる。

児童質問紙調査では、「学校のきまりを守っている」の項目が全国平均を大きく上回っており、規範意識が高い。「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目は全国平均を大きく上回っており、自主的な学習習慣が定着している。「地域や社会をよくするために考える」の項目は全国平均を下回っており、今後の課題である。今後も、地域の中で自分たちに何ができるかを考えさせるなど、地域と自分たちとの関わりについて考察するための指導方法や指導内容等を工夫していく。